県内病院・有床診療所の具体的対応方針の再検証結果（令和2年5月8日時点：新川医療圏）

資料3－1

	医療機関名	設置主体	医療計画における役割 上段：第7次（現行） 中段：第8次における計画（H30時点） 下段：第8次における計画（各医療機関再検討後）																											病床数 上段：H29病床機能報告 中上段：R2年4月1日時点 中下段：2025年の計画（H30時点） 下段：2025年の計画（各医療機関再検討後）					機能・病床数の変更		課題及び今後の方針
			がん			脳卒中			心血管疾患		糖尿病					精神疾患	救急		災害	へき地	周産期		小児			在宅			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	変更の有無	内容	
			治療（いずれかの部位に該当）	治療（肺がん）	療養支援（いずれかの部位に該当）	急性期	回復期	維持期	急性期	回復期	専門治療	急性増悪	慢性合併症（治療一般）	慢性合併症（糖尿病網膜症）	慢性合併症（糖尿病腎症）		救命医療	入院救急			ハイリスク等	正常分娩	専門	高度専門	救命医療	入院救急	（日常）	（看取り）								
1	黒部市民病院	公立	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	0	405	0	0	405	有	高度急性期の機能強化を予定しているが、現状の人員数で看護体制を維持させる為に一部、病床を縮小させる。	
																													0	405	0	0	405			
			○	○	○	○			○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	0	405	0	0	405			
			○	○	○	○			○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	8	392	0	0	400			
2	富山労災病院	公的																											4	244	0	52	300	有	高度急性期病床（HCU）を1床増床、慢性期（障害者病棟）を52床を廃止、回復期（地域包括ケア病棟）52床を導入、急性期病床37床を休床とする。	【当院の抱える問題】当院の診療の柱である消化器系疾患を中心とした「がん診療」、整形外科の股関節・大腿の骨折など高度急性期医療及び急性期医療に加え、魚津市産科構想に併せて産婦人科及び小児科を中心とした若年齢層の患者を確保し、病院としての総合力強化を図るとともにコンパクトで効率的な病床運用（稼働277床）を実施する計画であったが、産科構想の中止に伴い、一旦は病床数を300床としたが、安定的な経営基盤を確立するためには、常時病床利用率80％以上の確保が必要であり、今後はさらに高齢者医療に重点を移した循環型地域連携サイクルの構築が求められることから、それに見合った病床機能、病床数に返還させる必要がある。 【今後の方針】高齢社会に根差した循環型地域連携サイクルを構築するために、当院は診療の柱である消化器系疾患を中心とした「がん診療」及び整形外科の股関節・大腿の骨折など一般的救急を中心とした高度急性期医療（HCU）・急性期医療（一般病棟）と患者の在宅復帰を支援する回復期医療（地域包括ケア病棟）の機能を併せ持つ急性期ケアミックス型の病院を目指す。診療機能としては、障害者病棟を廃止とし、対象患者については一般病棟に特殊疾患入院医療管理料算定病床を導入し、一部障害者病棟の機能を継続する。HCUについては1床増床する。また、一般病棟1病棟を地域包括ケア病棟へ転換し、ポストアキュート機能のみならずサブアキュート機能を強化する。稼働病床数を300床から263床へダウンサイジングを行う。
			○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○			○										○	5	206	52	0	263			
			○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○			○										○	8	240	0	52	300			
			○	○		○	○		○		○	○	○	○	○			○										○	5	206	52	0	263			
3	あさひ総合病院	公立	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○		○	○					○		○		○	○	0	97	48	0	194 (休床49)	有	平成30年度に病院改修工事を行い4病棟・199床あった病院を2病棟109床へダウンサイズし、平成30年10月より一般病棟2病棟のうち1病棟を地域包括ケア病棟へ転換。平成30年6月まで回復期リハビリ病棟であった6階フロアは在宅介護支援センターを移設し、認知症院内デイケアを設けるなど病床医療を転換した	既に病床削減を行っており、これ以上の削減は考えていない。令和元年度の病床稼働率は92.0％となっており、今後も効率的な病床管理に努めていきたい。
																													0	56	53	0	109			
			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○					○		○		○	○	0	56	53	0	109			
			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○		○	○					○		○		○	○	0	56	53	0	109			
4	魚津病院	民間			○			○					○		○												○		0	0	0	108	108	有	慢性期、介護療養病床1病棟50床を、平成31年4月1日に介護医療院50療養床に転換する	
																													0	0	0	58	58			
																										○	○		0	0	0	108	108			
					○			○					○		○												○		0	0	0	58	58			
5	医療法人新川病院	民間						○																					0	0	0	120	120	有	H26.11.9より慢性期120床（医療病床60＋介護病床60）であったが、H30.8.1に、介護病床60床を、介護医療院60床へ転換した。当分の間この体制で。	
																													0	0	0	60	60			
								○																					0	0	0	60	60			
								○																					0	0	0	60	60			
6	深川病院	民間			○		○	○				○	○													○	○		0	0	0	154	154	無	現時点では病床利用率は90％あり、今の機能を維持する。今後のことは未定である。	機能転換やダウンサイジングも検討していたが、基準が満たせず今の機能を維持する方針。
																													0	0	0	154	154			
					○		○	○				○	○													○	○		0	0	0	154	154			
					○		○	○				○	○													○	○		0	0	0	154	154			
7	黒部温泉病院	民間						○																					0	0	0	160	160	有	平成31年4月に80床を介護医療院に転換しました。当面は慢性期病床80床と介護医療院80床で地域の医療及び介護ニーズにマッチできると考えております。なお、介護医療院転換後の病院の病床利用率は90％弱程度で安定しています。	病院に介護施設を内包した複合施設として、地域の医療や介護の提供体制にこれからも貢献し続けることを目標としています。近隣に機能が似ている医療機関が多いことから、他に無いようなセールスポイントを作ることが近々の課題と考えています。
																													0	0	0	80	80			
																													0	0	0	160	160			
							○	○																					0	0	0	80	80			

	医療機関名	設置主体	医療計画における役割 上段：第7次（現行） 中段：第8次における計画（H30時点） 下段：第8次における計画（各医療機関再検討後）																									病床数 上段：H29病床機能報告 中上段：R2年4月1日時点 中下段：2025年の計画（H30時点） 下段：2025年の計画（各医療機関再検討後）					機能・病床数の変更		課題及び今後の方針
			がん			脳卒中			心血管疾患		糖尿病					精神疾患	救急		災害	へき地	周産期		小児				在宅			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	変更の有無	内容	
			治療（いずれかの部位に該当）	治療（肺がん）	療養支援（いずれかの部位に該当）	急性期	回復期	維持期	急性期	回復期	専門治療	急性増悪	慢性合併症（治療一般）	慢性合併症（糖尿病網膜症）	慢性合併症（糖尿病腎症）		救命医療	入院救急			正常分娩	ハイリスク等	専門	高度専門	救命医療	入院救急	（日常）	（看取り）								
8	医療法人社団平成会桜井病院	民間						○			○	○	○																	0	0	0	120	120	無	病床利用率は90%以上あり、地域で必要とされる医療を提供しており、現時点では機能転換やダウンサイジングの必要はないと判断	高度急性期・急性期病院、かかりつけ診療所との連携を図り入院患者を増やしていく
																														0	0	0	120	120			
							○	○			○	○	○														○			0	0	0	120	120			
								○			○	○	○															○		0	0	0	120	120			
9	池田リハビリテーション病院	民間					○	○																			○			0	0	41	29	70	有	慢性期はH30.10に介護医療院に転換した。	回復期リハビリテーション病棟を主として、患者の早期在宅復帰を目指して取り組んでいく。
																														0	0	41	0	41			
							○	○																			○	○		0	0	41	0	41			
							○	○																				○		0	0	41	0	41			
10	坂本記念病院	民間			○			○		○			○															○		0	60	0	60	120	有	一般病棟を廃止し、療養病棟60床のみとする	
																														0	60（休床中）	0	60	120			
													○														○	○		0	60	0	60	120			
					○			○		○			○															○		0	0	0	60	60			
11	坂東病院	民間			○		○		○				○		○		○	○										○	○	0	48	0	0	48	無		急性期及び地域包括ケア病床の継続及び救急外来の継続、心血管急性期、透析の継続を目標とする。病院改築に関しては、県の意向に沿って計画する。
																														0	48	0	0	48			
					○			○					○		○												○	○	○	0	48	0	0	48			
					○		○		○				○		○		○	○										○	○	0	48	0	0	48			
12	丸川病院	民間			○		○	○					○															○		0	0	38	0	38	無	H28.2の新築移転時において、48床→38床（△20%）のダウンサイジングを実施済であり、現在も利用率は95%以上で推移している。	
																														0	0	38	0	38			
					○		○	○					○															○		0	0	38	0	38			
					○		○	○					○															○		0	0	38	0	38			
13	松本眼科医院	民間																												0	4	0	0	4	無	毎週水曜日に白内障手術4件を1泊で行っている。予約は常に2～3ヵ月待ちである。市外、遠方からの患者にとって必要な医療と考えており現時点では機能転換やダウンサイジングの必要はないと判断したため。	当院では白内障手術を行った患者の1泊入院を主軸としている。白内障手術を行っている周辺病院では、手術までの待機期間が半年に及ぶケースがある。その解消のために微力ながら、現在の運用を続けていく予定である。
																														0	4	0	0	4			
																														0	4	0	0	4			
																														0	4	0	0	4			
14	あわの産婦人科医院	民間																				○								0	18	0	0	18	無	地域で必要とされる医療を提供しており現時点でのダウンは考えていない。	
																														0	18	0	0	18			
																						○								0	18	0	0	18			
																						○								0	18	0	0	18			
15	新田眼科	民間												○																0	17	0	0	17	無		
																														0	17	0	0	17			
														○																0	17	0	0	17			
														○																0	17	0	0	17			

県内病院・有床診療所の具体的対応方針の再検証結果（令和2年5月8日時点：富山医療圏）

	医療機関名	設置主体	医療計画における役割 上段：第7次（現行） 中段：第8次における計画（H30時点） 下段：第8次における計画（各医療機関再検討後） がん			脳卒中		心血管疾患	糖尿病				精神疾患	救急		災害	へき地	周産期		小児				在宅		病床数 上段：H29病床機能報告 中上段：R2年4月1日時点 中下段：2025年の計画（H30時点） 下段：2025年の計画（各医療機関再検討後） 高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	機能・病床数の変更 変更の有無	内容	課題及び今後の方針
			治療（いずれかの部位に該当）	治療（肺がん）	療養支援（いずれかの部位に該当）	急性期	回復期	急性期	回復期	専門治療	急性憎悪	慢性合併症（治療一般）	慢性合併症（糖尿病網膜症）	慢性合併症（糖尿病腎症）	救命医療	入院救急			ハイリスク等	正常分娩	専門	高度専門	救命医療	入院救急	（日常）	（看取り）							
1	富山県立中央病院	公立	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			640	25	0	0	665	無	県内唯一の県立総合病院であり、基幹・中核病院として、これまでどおり高度急性期・急性期医療を担っていくとともに、新型コロナウィルス感染症への対応も考慮し、現時点では病床数は変更しない。	高度急性期医療を担う中で、高齢患者さんへの増加への対応や地域医療機関との連携強化を一層推進することにより、県民に良質で安全な医療を提供し、地域社会に貢献するという当院の理念の実現に努めていきたい。
																										640	25	0	0	665			
			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			640	25	0	0	665			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			640	25	0	0	665			
2	富山赤十字病院	公的	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○			○		○	188	200	0	0	388	無	令和元年度の病床利用率は85.7%であり、地域で必要とされる医療を提供している。また、新型コロナウイルス感染症患者等の受入れや連携病院への転院調整が鈍化しており、現時点では機能転換やダウンサイジングの必要はないと判断している。	現在、令和元年度の紹介率（86.7%）、逆紹介率（83.8%）となっており地域との医療提供体制は充実しているものと思っている。しかし、今後、紹介患者の減少や病床利用率の低下が見られれば再度、病床縮小を考える必要があると思われる。
																										188	200	0	0	388			
			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○			○	○	188	200	0	0	388			
			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○			○	○	188	200	0	0	388			
3	富山県済生会富山病院	公的	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○			○			6	194	50	0	250	無	休棟病床や非稼働病床はありません。過去3年間の病床利用率は90%前後であり、現在の250床を維持する方針です。医療機能分類の内訳は、高度急性期：脳卒中ケアユニット（SCU）6床、急性期:急性期一般入院料1が194床、回復期:地域包括ケア病棟50床です。現在の医療機能を維持する方針です。	診療時間内の救急医療に加え、富山医療圏二次救急輪番病院としての役割を担います。富山県唯一のSCU附設施設として「脳卒中・循環器病対策基本法」に定めている保健・医療・福祉の責務を果たします。地域医療支援病院として、在宅医療に関わる多職種と連携を密にし、退院支援の強化と日常の療養生活での支援を拡大し、地域包括ケアシステムの構築に貢献します。
																										6	194	50	0	250			
			○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○			○		6	194	50	0	250			
			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○	6	194	50	0	250			
4	国立大学法人富山大学附属病院	公的	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○			○		517	52	0	0	569	有	平成29年度に当院が策定した「公的医療機関等2025プラン」では、2025年度において、高度急性期病床の削減及び回復期病床への一部転換を計画していた。しかしながら、今般の新型コロナウィルス感染症への対応をはじめとして、現在、当院が実際に担っている医療機能等を踏まえて再度検討した結果、当院の病床機能は、2025年度においても高度急性期が中心になるとの結論に至った（1床の減は第二種感染症指定医療機関に指定されたことによる）。なお、令和2年度診療報酬改定においても特定機能病院は回復期リハビリテーション病棟入院料を算定できなくなったため、回復期病床も置かないこととする。	
																										517	52	0	0	569			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○			97	422	50	0	569			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			516	52	0	0	568			
5	独立行政法人国立病院機構富山病院	公的					○				○		○	○	小児思春期精神						○	重症心身障害児(者)				0	0	0	280	280	無	令和2年5月より慢性期病床数280床のうち、10床休床として運用している。	
																										0	0	0	280	280			
							○							○							○				○	0	0	0	280	280			
							○							○							○				○	0	0	0	280	280			
6	富山市立富山市民病院	公立	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○			18	521	0	0	539	有	富山県地域医療構想において、2025年には急性期の病床が過剰になると見込まれている中で、当院としては医療機能や資源の集約化を図るため、50床程度をダウンサイズすることとしている。	本市のまちなか地域においては高齢化及び要介護率がともに高く、富山市立富山まちなか病院の病床の大半を回復期機能に転換したとしても、まだ回復期病床の不足が見込まれることから、市民病院における病床の一部をまちなか病院へ移し、回復期病床のさらなる充実を図ることについて検討を始める。
																										18	521	0	0	539			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○			18	521	0	0	539			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○			66	425	0	0	491			
7	富山県厚生農業協同組合連合会滑川病院	公的	○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○				○	○			○			0	158	53	0	211	有	急性期機能の病棟を1病棟、地域包括ケア病棟に転換し、回復期機能とする。	入院患者の減少及び医師不足が課題であり将来的には病床数の削減を検討する必要がある。
																										0	158	53	0	211			
			○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○				○	○			○			0	158	53	0	211			
			○				○	○		○	○	○	○	○	○	○				○	○			○			0	103	104	0	207			
8	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	公立					○	○				○			○						○						0	50	100	52	202	有	1、平成30年7月に療養介護棟（30床）を開設したため慢性期を30床増やす。 2、当院5階病棟50床は診療報酬上の回復期リハビリテーション病棟入院料の算定要件には合わないがリハビリテーションが必要な患者が主に入院している。提供されている医療の内容の観点から回復期機能と判断されるため「急性期」から「回復期」に修正する。	
																										0	0	150	82	232			
							○	○				○			○						○						0	50	100	82	232			
							○	○				○			○						○						0	0	150	82	232			
9	かみいち総合病院	公立	○		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○		○		○	○			○		○	0	100	48	0	148	有	急性期機能の南3階病棟（48床）を1病棟、地域包括ケア病棟に転換し、回復期機能とする。	病床稼働率の向上や経営改善のための運営の見直しが必要である。今後の方針等については、第3次中期経営計画で見直しを予定している。
																										0	100	48	0	148			
			○		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○		○		○	○			○	○	0	100	48	0	148			
			○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		○		○	○			○	○	0	51	97	0	148			

医療機関名		設置主体	医療計画における役割 上段：第7次（現行） 中段：第8次における計画（H30時点） 下段：第8次における計画（各医療機関再検討後） がん		脳卒中			心血管疾患	糖尿病				精神疾患	救急		災害	へき地	周産期		小児				在宅			病床数 上段：H29病床機能報告 中上段：R2年4月1日時点 中下段：2025年の計画（H30時点） 下段：2025年の計画（各医療機関再検討後） 高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	機能・病床数の変更 変更の有無	内容	課題及び今後の方針
			治療（いずれかの部位に該当）	療養支援（いずれかの部位に該当）	急性期	回復期	維持期	急性期 回復期	専門治療	急性増悪	慢性合併症（治療一般）	慢性合併症（糖尿病網膜症）	慢性合併症（糖尿病腎症）	救命医療	入院救急			ハイリスク等	正常分娩	専門	高度専門	救命医療	入院救急	（日常）	（看取り）								
10	八尾総合病院	民間		○		○	○		○	○	○	○			○					○				○	○	○	0	98	101	0	199	有		
																											0	0	45	0	45			
				○		○	○		○	○	○				○					○				○	○	○	0	0	45	0	45			
				○		○	○		○	○	○				○					○				○	○	○	0	0	45	0	45			
11	富山医療生活協同組合富山協立病院	民間		○		○	○	○	○		○		○											○	○	○	0	29	16	109	154	有	急性期一般から地域包括ケア病床への転換をしたところだが2025年までの具体的方針は立っていない、現状維持。	2025年度の計画も検討しなければならないが、まだ着手できていない。これから検討の予定。
																											0	3	42	109	154			
				○		○	○	○	○		○		○											○	○	○	0	45	0	109	154			
				○		○	○	○	○		○		○											○	○	○	0	3	42	109	154			
12	不二越病院	民間							○		○		○														0	60	0	0	60	有	地域医療連携機能強化のため、病室（4床分）を地域連携室にあてる予定。	地域住民の医療貢献のため地域連携機能の強化に努めたいと考えています。
																											0	60	0	0	60			
									○	○	○		○														0	0	0	0	0			
							○	○	○	○	○		○														0	56	0	0	56			
13	藤木病院	民間		○	○	○		○			○				○												0	20	40	0	60	有	急性期機能病床20床を地域包括ケア病床5床増床として急性期15床、包括病床45床とする。	
																											0	20	40	0	60			
				○	○	○		○	○	○	○				○									○	○	○	0	60	0	0	60			
																											0	15	45	0	60			
14	西能病院	民間					○								○												0	50	47	0	97	無	病床利用率は安定的に82%を推移しており現時的では医療機能及び病床数を変更する必要はないと判断した。	
																											0	50	47	0	97			
							○								○												0	50	47	0	97			
							○								○												0	50	47	0	97			
15	長谷川病院	民間		○		○							○														0	40	0	0	40	有	透析患者用介護医療院への転換を希望する。今後いろいろ相談させていただきます。	専門性の高い（単科）サービスの提供である事、入院日数短縮への取得等で稼働率が低くなっている。今後はより質の高いサービスを透析患者、がん患者さんに提供できる様に地域クリニックとの連携や介護医療院等への機能転換を図る。
																											0	40	0	0	40			
													○											○	○		0	40	0	0	40			
				○		○							○														0	31	0	0	31			
16	横田記念病院	民間					○						○														0	34	0	34	68	無		富山市中心部における「地域包括ケアシステム」実践の中で、急性期病院と在宅生活の橋渡しをしていくことが、当院が担うべき役割と考えています。在宅復帰支援においては、「完全側臥位法」等を用いて、摂食機能の維持・回復を目指し、経口栄養摂取への取り組みを進めていきます（患者さんの様態による）。2019年4月より「地域包括ケア入院医療管理料」を算定する病床を10床整備。機能訓練室には言語聴覚士室を配備し、言語聴覚士の採用・稼働による嚥下訓練等の実施を予定。セラピストを増員して回復期能の充実を図ります。「地域一般入院基本料1」を算定する24床では、亜急性期患者さんの継続的な濃厚治療継続の場として、また、当院外来透析患者さんの急性増悪等に対応する病床として効率的な病床稼働に取り組みます。「療養病棟入院基本料」を算定する34床では、長期透析かつ高齢化の進展した患者さんの全身症状等の管理等を中心とした高医療度の療養・治療を継続します。入院時に担当した看護師（理学療法士）による（退院後の）訪問看護（訪問リハビリ）の強化、及び院内事業所（介護支援専門員）との連携強化による退院支援の充実化を図り、地域包括ケアを推進します。当院退院後の患者さんの在宅療養生活継続のための支援強化が課題。具体的には、外部の福祉施設や在宅サービス提供事業者との連携強化です。連携強化を可能とするため、当院在宅医療部門（訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、ケアマネジメント）を一体化した組織の設立を検討しています。
																											0	34	0	34	68			
																											0	34	34	0	68			
				○		○	○	○		○	○																0	34	0	34	68			
17	富山西総合病院	民間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○							○	○	○	0	0	0	0	0	有	北川内科クリニックと合併を予定。合併による増床分は回復期とすることを想定。既に富山医療圏地域医療構想調整会議に報告、合意済（R2.2.17）	
																											0	116	38	0	154			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○							○	○	○	0	116	38	0	154			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○							○	○	○	0	116	83	0	199			

医療機関名		設置主体	医療計画における役割 上段：第7次（現行） 中段：第8次における計画（H30時点） 下段：第8次における計画（各医療機関再検討後）																			病床数 上段：H29病床機能報告 中上段：R2年4月1日時点 中下段：2025年の計画（H30時点） 下段：2025年の計画（各医療機関再検討後）					機能・病床数の変更		課題及び今後の方針
			がん		脳卒中		心血管疾患	糖尿病			精神疾患	救急		災害	へき地	周産期		小児			在宅			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	変更の有無	内容	
			治療（いずれかの部位に該当）	療養支援（いずれかの部位に該当） 治療（肺がん）	急性期	維持期 回復期	急性期	回復期	専門治療	急性憎悪	慢性合併症（治療一般）	慢性合併症（糖尿病網膜症）	慢性合併症（糖尿病腎症）	救命医療	入院救急	ハイリスク等	正常分娩	専門	高度専門	救命医療	入院救急	（日常）	（看取り）							
18	本江整形外科医院	民間											○											0 0 0 0	19 19 19 19	0 0 0 0	0 0 0 0	19 19 19 19	無	腰椎手術（4例）、骨折手術、関節内視鏡手術（26例）など施行しており、他に外傷の急性期の入院があり、このまま継続の予定である。（）内は令和2年1月～4月の手術実績	
								○	○	○		○	○																		
19	さたけ産婦人科	民間															○ ○ ○							0 0 0 0	16 16 16 16	0 0 0 0	0 0 0 0	16 16 16 16	無		
20	吉本レディースクリニック	民間															○ ○							0 0 0 0	16 16 16 16	0 0 0 0	0 0 0 0	16 16 16 16	無	分娩を取り扱う施設が富山市内でも少なく現状維持すべきと判断した。	富山市内の分娩取扱い診療所が3施設であるが今後減少する可能性もあり、出生数も右肩下がりですが地域の分娩を支えるべく増床、医師増員を図るのが正しいのか検討していかなければならない。見直しも年毎に実施すべき点である。
21	かんすいこうえんレディースクリニック	民間															○ ○ ○							0 0 0 0	12 12 12 12	0 0 0 0	0 0 0 0	12 12 12 12	無		
22	片山眼科医院	民間						○ ○ ○													○	○		0 0 0 0	11 11 11 11	0 0 0 0	0 0 0 0	11 11 11 11	無	入院する患者さんの疾病は白内障、緑内障、網膜硝子体疾患であるが入院期間は1～3日間である。手術日は週2日であるが、土、日曜日は病床稼働は0であるが、月～金では稼働率は90.8%であり、現時点でのダウンサイジングは考えていない。	2025年に向け、老人人口は増加する。当院での対応疾患、手術はさらに増加すると考えられる。（白内障、緑内障）
23	山田祐司眼科医院	民間						○																0 0 0 0	9 9 0 9	0 0 0 0	0 0 0 0	9 9 0 9	無		
24	ますだ眼科医院	民間						○ ○ ○	○												○ ○	○ ○		0 0 0 0	8 8 8 8	0 0 0 0	0 0 0 0	8 8 8 8	無	手術（主に白内障）施行後、翌日に診察しなければいけないが、その際に通院できず当日入院、観察する必要があることがあり需要があるため	
25	石坂眼科医院	民間						○																0 0 0 0	0 0 4 4	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 4 4	無	急性期で入院する可能性のある疾患があるため	急性期で入院の可能性のある間は現在の体制を続けていきたいと思っております。
26	富山西リハビリテーション病院	民間			○ ○ ○	○ ○ ○					○ ○ ○													0 0 0 0	0 0 0 0	40 120 120 120	80 0 0 0	120 120 120 120	有	現在、富山市内外の急性期病院からリハビリ目的の患者を多数紹介していただいており、病床利用率は90%以上を維持しているため機能転換やダウンサイジングの必要はないと判断したため。	
27	清幸会島田病院	民間	○		○ ○ ○			○ ○													○ ○	○ ○		0 0 0 0	0 0 0 0	90 90 90 90	0 0 0 0	90 90 90 90	無	急性期から多くの患者を受け入れており病床利用率は100%に近く、現時点では現状維持の予定である。	
28	アルペンリハビリテーション病院	民間			○ ○ ○ ○						○ ○ ○ ○													0 0 0 0	0 0 0 0	60 60 60 60	0 0 0 0	60 60 60 60	無		

医療機関名		設置主体	医療計画における役割 上段：第7次（現行） 中段：第8次における計画（H30時点） 下段：第8次における計画（各医療機関再検討後） がん			脳卒中			心血管疾患		糖尿病			精神疾患	救急		災害	へき地	周産期		小児			在宅		病床数 上段：H29病床機能報告 中上段：R2年4月1日時点 中下段：2025年の計画（H30時点） 下段：2025年の計画（各医療機関再検討後） 高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	機能・病床数の変更 変更の有無	内容	課題及び今後の方針
			治療（いずれかの部位に該当）	治療（肺がん）	療養支援（いずれかの部位に該当）	急性期	回復期	維持期	急性期	回復期	専門治療	急性増悪	慢性合併症（糖尿病網膜症）		救命医療	入院救急			ハイリスク等	正常分娩	専門	高度専門	救命医療	入院救急	（日常）	（看取り）							
29	杉野脳神経外科病院	民間				○		○			○	○	○			○									○		0	0	51	0	51	無	51床のうち、地域包括病床を16床取得しており、今後増床の予定です。病床利用率も上がってきており、地域ニーズがあると感じているため。	入院患者の確保と、退院後の在宅復帰及び受入先施設の確保のバランスを維持すること。回復期の病院として特色を出していきたい。正看護師、看護補助、リハビリスタッフなどの人材確保。
																											0	0	51	0	51			
						○	○	○		○	○	○	○			○									○	○	0	0	51	0	51			
					○		○	○		○		○				○									○	○	0	0	51	0	51			
30	富山まちなか病院	公立									○	○	○	○													0	50	0	0	50	有	富山医療圏において回復期病床が不足しているため、急性期病床の内41床を地域包括ケア病床に転換する予定である。	当院の病院施設は老朽化しており、病院機能の向上を図る場合、改築が必要であるが、改築には多大な費用がかかるため難しい。
																											0	50	0	0	50			
																											0	0	0	0	0			
			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○	○	0	6	41	0	47			
31	桜井病院	民間			○			○		○	○		○												○	○	0	0	40	0	40	無	他施設との連携等、地域で必要とされる適切な病床数と病床機能と判断している。	患者が自分らしく生活が送れるようにさらに地域に根ざした医療と介護が一体したサービス提供する
																											0	0	40	0	40			
																									○	○	0	0	40	0	40			
					○			○		○	○		○												○	○	0	0	40	0	40			
32	月岡クリニック	民間			○			○		○			○												○	○	0	19	0	0	19	無		
																											0	19	0	0	19			
					○			○		○			○												○	○	0	19	0	0	19			
					○			○		○			○												○	○	0	19	0	0	19			
33	医療法人社団若葉会高重記念クリニック	民間			○			○		○			○												○	○	0	1	0	1	2	無	現在保有する病床数は2床である。救急患者の経過観察のための1床（救急指定）及び在宅療養支援診療所としての1床を確保している。夜勤のできる看護スタッフが入り次第、対応を検討したい。	1病気や介護が必要な状態にならないよう予防医療に力を入れる。2地域の“”かかりつけ医“として専門性を兼ね備えた医療を行い社会に貢献したい。
																											0	1	0	1	2			
					○																				○	○	0	0	2	0	2			
					○			○		○			○												○	○	0	1	0	1	2			
34	流杉病院	民間			○		○	○		○			○														0	0	0	301	301	有	介護療養病床170床は既に介護医療院へ転換している。病床稼働率95%を超えており、地域で必要とされている医療を提供しているので現時点での変更は考えていない。	
																											0	0	0	131	131			
					○		○	○		○			○														0	0	0	131	131			
					○		○	○		○			○														0	0	0	131	131			
35	友愛温泉病院	民間																									0	0	0	280	280	有	介護療養病床の120床を平成30年11月に介護医療院に転換した	課題　急性期病院からの患者紹介の減少対策
																											0	0	0	160	160			
																											0	0	0	160	160			
																											0	0	0	160	160			
36	野村病院	民間						○																			0	0	0	200	200	無	当院では富山市及びその周辺地域の急性期病院から、月間20人前後のポストアキュート患者の入院を受け入れております。医療内容としては、重度の医療区分2・3の患者が90%を占め、急性期病院と提携しながら亜急性期から慢性期医療を行っております。また、外来及び近隣の居宅系施設からサブアキュート患者の入院も受け入れております。いずれも介護施設や居宅系施設とも連携し、在宅復帰についても注力しており、療養病院としてあるべき姿を発揮していると考えております。以上より、医療機能及び病床数を変更する必要性は乏しいと考えております。	cureからcareへの転換が重要になってくるため、それに対応できる医療介護提供体制として、院内併設の介護療養型老人保健施設を令和2年4月に介護医療院へ転換しました。また、当病院グループの白岩川有料老人ホーム内に居宅介護支援事業所と訪問介護ステーションを立ち上げ介護系の機能強化を行いました。慢性期以降の医療介護については当病院グループで対応可能となることにより、水橋周辺地域の方々が住み慣れた地域で暮らし続けることができるのではないかと考えております。今後はより一層地域との医療介護連携を強化し、果たすべき役割を果たしていきたいと考えております。
																											0	0	0	200	200			
																									○	○	0	0	0	200	200			
					○		○	○		○															○	○	0	0	0	200	200			
37	医療法人社団城南会富山城南温泉病院	民間																									0	0	0	190	190	有	富山城南温泉病院が築40年を経過し老朽化が進んでおります。そこで、2024年度の開設を目途に、富山城南温泉病院と第二病院を統合し新病院の建設を考えております。（療養病床166床で開設予定）従って、富山城南温泉病院は、2020年7月1日に介護医療院に転換する際には、療養病床178床から99床に減少し、現在の第二病院療養病床67床と合わせて166床の療養病床で運営致します。	
																											0	0	0	178	178			
					○		○	○		○			○		○												0	0	0	190	190			
					○		○	○		○			○		○												0	0	0	99	99			

	医療機関名	設置主体	医療計画における役割 上段：第7次（現行） 中段：第8次における計画（H30時点） 下段：第8次における計画（各医療機関再検討後） がん			脳卒中		心血管疾患	糖尿病			精神疾患	救急		災害	へき地	周産期		小児			在宅		病床数 上段：H29病床機能報告 中上段：R2年4月1日時点 中下段：2025年の計画（H30時点） 下段：2025年の計画（各医療機関再検討後） 高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	機能・病床数の変更 変更の有無	内容	課題及び今後の方針
			治療（いずれかの部位に該当）	治療（肺がん）	療養支援（いずれかの部位に該当）	急性期	回復期	維持期	急性期	回復期	専門治療	急性憎悪	慢性合併症（治療一般）	慢性合併症（糖尿病網膜症）	慢性合併症（糖尿病腎症）	救命医療	入院救急	正常分娩	ハイリスク等	専門	高度専門	救命医療	入院救急	（日常）	（看取り）							
38	温泉リハビリテーションいま泉病院	民間			○		○	○					○		○									○	○	0	0	0	163	163	有	平成30年8月1日より163床ある療養病床の内54床を介護医療院に機能転換を行いました。現在、109床を療養病床にて平成30年8月1日より令和元年7月3日にて、病棟の病床利用＝36,558÷(109床×365)＝91.88%であり現在でも90%以上の病床稼働があり地域でも必要とされる医療を提供しており現時点では機能転換やダウンサイジングは必要ないと判断しております。	
																										0	0	0	109	109			
					○		○	○					○		○									○	○	0	0	0	109	109			
					○		○	○					○		○									○	○	0	0	0	109	109			
39	医療法人社団城南会富山城南温泉第二病院	民間																								0	0	0	134	134	有	富山城南温泉病院が築40年を経過し老朽化が進んでおります。そこで、2024年度の開設を目途に、富山城南温泉病院と第二病院を統合し新病院の建設を考えております。（療養病床166床で開設予定）従って、富山城南温泉病院は、2020年7月1日に介護医療院に転換する際には、療養病床178床から99床に減少し、現在の第二病院療養病床67床と合わせて166床の療養病床で運営致します。	
																										0	0	0	67	67			
					○			○	○				○		○											0	0	0	134	134			
					○			○	○				○		○											0	0	0	67	67			
40	医療法人社団翠十字会誠友病院	民間						○																		0	0	0	108	108	無	病床利用率は99.8%であり、療養病床として地域で必要とされる医療を提供しており、現時点では機能転換やダウンサイジングの必要はないと判断したため、変更しない。	医療として運営していくにあたり、人員確保が課題である。
																										0	0	0	108	108			
																										0	0	0	108	108			
								○																		0	0	0	108	108			
41	おおやま病院	民間	○		○		○	○	○	○	○		○											○	○	0	0	0	106	106	有	記載月およびその前月に満床になっており、且つ、ベッド空き待ちの待機患者もしばし存在する現状において、病床数を減らすことは考えられない。また、療養病棟入院基本料1の算定要件もしっかり満たしており、今のところ機能転換の考えはない。	療養病床ではあるが、患者さんの願いも踏まえ、今後も在宅復帰を積極的に進めたい。ただ、一人暮らし、老夫婦世帯の方々が多く、受け皿的な問題もあり、また、医師一人当たりの医療病棟や介護医療院での受け持ちの症例数が、一般病院に比して多く、医師のマンパワー不足などの問題もある。周囲に外来機能にも力を入れている医療機関が少なく、救急患者の受け入れなど、地域のニーズに合う積極的な医療を推し進めたいとは思うが、上述の様に医師のマンパワー不足、病床不足などの課題がある。
																										0	0	0	48	48			
			○		○			○		○	○		○											○	○	0	0	0	48	48			
			○		○		○	○	○	○	○	○	○	○										○	○	0	0	0	48	48			
42	栗山病院	民間			○		○	○	○			○	○	○											○	0	0	0	43	43	無	病床利用率は令和1年実績91.6%。現時点で機能転換は考えていない。	入院基本料2→1を目指している
																										0	0	0	43	43			
								○																○	○	0	0	0	95	95			
					○		○	○					○	○	○										○	0	0	0	43	43			
43	三輪病院	民間						○				○														0	0	0	91	91	無	現在医療療養病床70床、介護療養病床21床。介護療養病床5床を2020年度中に医療療養病床へ転換する。2025年までに同様に介護療養病床から医療療養病床へ転換を行っていく。	医療従事者の確保とサービスの質の維持が課題である。
																										0	0	0	91	91			
								○				○														0	0	0	91	91			
								○				○														0	0	0	91	91			
44	萩野病院	民間			○			○	○		○															0	0	0	80	80	無	病床利用率はある程度高く、地域で必要とされている。現時点では「機能転換」の必要を感じていないため	当面は他施設の動向を検討材料にして、地域における自院の方向性を探ることとしたい。
																										0	0	0	80	80			
					○			○	○		○												○			0	0	0	80	80			
					○			○	○		○												○			0	0	0	80	80			
45	西能みなみ病院	民間			○		○	○																		0	0	0	88	88	無	2019年度の病床利用率は95%であり、医療機能及び病床数の変更は必要ない	
																										0	0	0	88	88			
							○	○																		0	0	0	88	88			
					○		○	○			○													○	○	0	0	0	88	88			
46	医療法人北聖病院	民間						○																○	○	0	0	0	88	88	無		
																										0	0	0	88	88			
																										0	0	0	88	88			
								○																○	○	0	0	0	88	88			
47	成和病院	民間			○			○			○		○											○	○	0	0	0	73	73	無	介護医療院と療養病床で地域のニーズに合っていると思う	
																										0	0	0	40	40			
																										0	0	0	0	0			
					○			○			○		○											○	○	0	0	0	40	40			

医療機関名		設置主体	医療計画における役割 上段：第7次（現行） 中段：第8次における計画（H30時点） 下段：第8次における計画（各医療機関再検討後）																			病床数 上段：H29病床機能報告 中上段：R2年4月1日時点 中下段：2025年の計画（H30時点） 下段：2025年の計画（各医療機関再検討後）					機能・病床数の変更		課題及び今後の方針
			がん		脳卒中		心血管疾患	糖尿病			精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児		在宅		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	変更の有無	内容	
			治療（いずれかの部位に該当）	療養支援（いずれかの部位に該当） 治療（肺がん）	急性期	回復期 維持期	急性期 回復期	専門治療	急性憎悪 慢性合併症（治療一般）	慢性合併症（糖尿病網膜症） 慢性合併症（糖尿病腎症）		救命医療	入院救急		ハイリスク等 正常分娩	専門 高度専門 救命医療	入院救急	（日常） （看取り）									
48	吉見病院	民間		○		○												○		0	0	0	68	68	有	2020.3.1～介護療養病床28床のうち、18床を小規模介護医療院に転換済	残存する介護療養病床10床については経過措置期間内に医療療養病床に転換し、介護ショートステイの受け入れ枠を増やすことで、地域での在宅生活維持に貢献したいと考える。
																				0	0	0	50	50			
				○		○			○									○		0	0	0	68	68			
				○		○													○	0	0	0	50	50			
49	政岡内科病院	民間		○		○	○		○	○										0	0	0	67	67	有	建替に伴い、2病棟67床を1病棟50床にする。	
																				0	0	0	67	67			
									○	○										0	0	0	67	67			
				○		○	○		○	○										0	0	0	50	50			
50	あゆみの郷	民間																		0	0	0	59	59	無	病床利用率は、短期入所を含め常時95%以上であり、地域で必要とされる重度障害者のための福祉、医療を提供している。潜在的な在宅障害者の短期入所需要はあると想定されるものの、現時点では入院医療需要と供給のバランスが適正であると考えており、機能転換やダウンサイジングの必要はないと思われるため。	医療従事者人材確保が課題の一つであり、2025年問題を見据え、中長期的な視点での継続的な対策が求められる。当法人では、地域に於いて障害児者医療を中心とし、認定こども園や老人ホーム、障害者就労施設を運営するなど、法人理念でもある地域に於ける総合的な共生社会の実現を通じて、地域人材で支える地域医療の実現、人材確保を目指していく。外国人人材の積極的な採用も併せて行う。
																				0	0	0	59	59			
																				0	0	0	59	59			
51	北川内科クリニック	民間																		0	0	0	48	48	有	藤聖会に参画したため、今後の床数、床利用に関して検討していく。	
																				0	0	0	48	48			
																				0	0	0	48	48			
																				0	0	0	0	0			
52	チューリップ長江病院	民間																		0	0	0	45	45			
																				0	0	0	45	45			
				○		○	○											○	○	0	0	0	45	45			
																				0	0	0	45	45			
53	佐伯病院	民間		○		○	○		○	○								○	○	0	0	0	41	41	無	病床利用率93.2%と高く、地域性を勘案しても引き続きニーズがあるものと考えるため、減床は必要ないと判断。療養病床ではあるが、在宅復帰を目指したリハビリテーション等を提供しているので回復期機能を増加させる。	
																				0	0	0	41	41			
						○				○								○	○	0	0	0	41	41			
				○		○	○		○	○								○	○	0	0	0	41	41			
54	医療法人社団城南会城南内科クリニック	民間						○		○										0	0	0	19	19	無	どうなるのか未定である。	透析開始の高齢化が進むにともないサポート体制が重要になってくる。どこまで家族のサポートが受けられるか、また最終の意志をどうするのか決めておくことが課題となっている。地域の役割をどうするのか、今後の課題である。
																				0	0	0	19	19			
																				0	0	0	19	19			
																				0	0	0	0	0			
55	すぎき整形外科	民間																		0	0	0	0	0	無		現在看護師数は少なく、有床療養できませんが看護師が充たした状態になれば再稼働を予定している。
																				0	0	0	0	0			
																				0	0	0	19	19			
																				0	0	0	0	0			
56	三川クリニック	民間			○	○	○		○	○										0	0	0	6	6	無		看護用員が著しく不足しているため、病床の活用ができません。
																				0	0	0	6	6			
						○	○		○	○										0	6	0	0	6			
					○	○	○		○	○										0	0	0	6	6			
57	布谷整形外科医院	民間				○												○		0	0	0	0	0	無		地域に密着した医療機関として、地域の健康と疾病を管理する役割、医療と介護の包括的ケアを十分に提供できる様な設備と人員の確保です。
																				0	0	0	0	0			
						○												○	○	0	0	0	0	0			
						○													○	0	0	0	0	0			

県内病院・有床診療所の具体的対応方針の再検証結果（令和２年５月８日時点：高岡医療圏）

	医療機関名	設置主体	医療計画における役割 上段：第７次（現行） 中段：第８次における計画（H30時点） 下段：第８次における計画（各医療機関再検討後） がん			脳卒中			心血管疾患		糖尿病				精神疾患	救急		災害	へき地	周産期		小児				在宅			病床数 上段：H29病床機能報告 中上段：R2年4月1日時点 中下段：2025年の計画（H30時点） 下段：2025年の計画（各医療機関再検討後） 高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	機能・病床数の変更 変更の有無	内容	課題及び今後の方針
			治療（いずれかの部位に該当）	治療（肺がん）	療養支援（いずれかの部位に該当）	急性期	回復期	維持期	急性期	回復期	専門治療	急性増悪	慢性合併症（治療一般）	慢性合併症（糖尿病網膜症）	慢性合併症（糖尿病腎症）	救命医療	入院救急			ハイリスク等	正常分娩	専門	高度専門	救命医療	入院救急	（日常）	（看取り）									
1	厚生連高岡病院	公的	○	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				272	261	0	0	533	有	地域包括ケア病棟を高度急性期機能の病棟に転換	富山県西部唯一の救命救急センターを整備しており、今後西部地区の高度医療、高度急性期医療を担うべく、急性期→高度急性期への転換を各病院と病床調整しながら進めていく。
																													272	261	0	0	533			
			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				272	261	0	0	533			
			○	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				321	212	0	0	533			
2	高岡市民病院	公立	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○			○	○	○			74	259	0	0	333	有	急性期機能の病床を30床程度削減を検討	内科医の減少をはじめとした医師不足による病院経営面への影響。分娩件数の減少による産科医派遣中止の懸念。大学医局への医師派遣依頼の継続のほか、分娩件数増加に向けた機能強化を検討している。
																													74	259	0	0	333			
			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○			○	○	○			74	259	0	0	333			
			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○			○	○	○			74	229	0	0	303			
3	富山県済生会高岡病院	公的			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○		○	○				○	○			7	150	94	0	251	有	急性期機能の病床3床を回復期機能床（地域包括ケア病床）に転換する。 （急性期病床147床→144床、地域包括ケア病床52床→55床）	地域の医療機関との機能分担・連携を図り、高度専門医療・救急医療から回復期医療・在宅療養支援まで、ベストミックスの医療を提供していく。
																													7	150	94	0	251			
			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○		○	○			○	○	○			7	150	94	0	251			
			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○		○	○				○	○			7	144	100	0	251			
4	JCHO高岡ふしき病院	公的	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○		○		○				○		○	○	○	○		0	129	70	0	199	有	地域の人口減少と高齢化を想定して、199床の病床（休床61床で稼働138床:急性期病床（68床）、回復期病床（70床）から、急性期病床を48床へ回復期病床は72床（計120床）へダウンサイジングを行います。但し、60床2単位であり、急性期病棟のフロアにある病床の数は60床であるが、急性期入院料を算定するのは48床です。実質、急性期一般入院料を算定する病床数を129から48床に圧縮します。	JCHO高岡ふしき病院は、今後も地域包括ケアシステムの中で回復期医療を中心に診療します。少子高齢化が進行する状況で、在宅医療、病児保育、認知症治療、誤嚥性肺炎、嚥下障害、など、地域のニーズに特化した診療を実施します。現在、整形外科疾患のニーズには十分に応えていないので、2025年までに常勤の整形外科医を確保するため、最大限の活動を行っています。将来の医師確保につなげるために、奨学金制度も導入しました。
																													0	129	70	0	199			
			○	○				○	○	○	○	○	○	○	○		○		○				○		○	○	○	○		0	50	100	0	150			
					○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	△		○						○		○	○	○			0	48	72	0	120			
5	あさなぎ病院	民間			○		○	○		○	○		○		○															0	53	0	0	53	無	予定外の入院で満床近くになる場合もあり、地域医療の貢献ができると判断したため。	現在主となっている透析医療の他にリウマチ科や整形外科領域など他分野でも機能充実を行っていく。
																													0	53	0	0	53			
								○			○		○		○		○												0	53	0	0	53			
					○		○	○		○	○		○		○			○											0	53	0	0	53			
6	サンバリー高岡病院	民間						○																					0	0	0	100	100	無	病床利用率は90%以上で地域で必要とされている医療を提供している。現時点では機能転換やダウンサイジングの必要はないと判断したため。	看護、介護職員の不足。現在の病床機能を維持していく。
																													0	0	0	100	100			
								○																					0	0	0	100	100			
								○																					0	0	0	100	100			
7	サンバリー福岡病院	民間						○				○																	0	0	0	118	118	有	3人床→2人床へと変更したいと考えている。（118床→102床の減）	介護病床30床については未定。（医療病床への転換あるいは介護医療院への転換）
																													0	0	0	118	118			
								○				○																	0	0	0	118	118			
								○				○																	0	0	0	102	102			
8	医療法人社団整志会沢田記念高岡整志会病院	民間																											0	70	0	0	70	無		可能な限り急性期医療を継続していきたい。
																													0	70	0	0	70			
																													0	70	0	0	70			
																													0	70	0	0	70			
9	医療法人高岡みなみハートセンターみなみの	民間			○				○	○		○	○	○		○									○	○	○			0	0	53	42	95	有	急性期病棟については、設備や職員を拡充し、急性期心血管疾患、循環器疾患を中心とした医療を提供しており、慢性期病棟については、地域で必要とされる入院透析や慢性期医療を提供しており、現時点では機能転換の必要はないと判断したため。	従前通り急性期心血管疾患、循環器、血管内治療に専念するとともに地域での医療連携を図りたいと思います。
																													0	53	0	42	95			
					○				○	○		○	○			○									○	○	○			0	53	0	42	95			
					○				○	○		○	○	○	○	○									○	○	○			0	53	0	42	95			
10	医療法人社団桑山会丹保病院	民間			○							○													○	○	○			0	0	0	72	72	有	平成30年12月介護療養病床38床につき介護医療院に変更させた。現時点では病床利用率95%以上であり地域で必要とされる医療を提供しており現状維持する。	慢性期医療を担う病院として急性期病院の受け皿となり、在宅復帰を考え治療をすすめる。一方終末期を迎える患者様のささえとなれる様な病院として地域の皆様に貢献していきたい。
																													0	0	0	34	34			
					○							○													○	○	○			0	0	0	34	34			
					○			○				○													○	○	○			0	0	0	34	34			

医療機関名		設置主体	医療計画における役割 上段：第7次（現行） 中段：第8次における計画（H30時点） 下段：第8次における計画（各医療機関再検討後）																							病床数 上段：H29病床機能報告 中上段：R2年4月1日時点 中下段：2025年の計画（H30時点） 下段：2025年の計画（各医療機関再検討後）					機能・病床数の変更		課題及び今後の方針
			がん			脳卒中			心血管疾患		糖尿病				精神疾患	救急		災害	へき地	周産期	小児			在宅			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	変更の有無	内容	
			治療（いずれかの部位に該当）	治療（肺がん）	療養支援（いずれかの部位に該当）	急性期	回復期	維持期	急性期	回復期	専門治療	急性憎悪	慢性合併症（治療一般）	慢性合併症（糖尿病網膜症）	慢性合併症（糖尿病腎症）	救命医療	入院救急			ハイリスク等	専門	高度専門	救命医療	入院救急	（日常）	（看取り）								
11	医療法人光ヶ丘病院	民間			○		○	○		○	○	○	○			○								○	○	○	0	0	31	206	237	無		
																											0	0	31	146	177			
					○		○	○		○	○	○	○			○								○	○	○	0	0	31	146	177			
					○		○	○		○	○	○	○			○								○	○	○	0	0	31	146	177			
12	万葉病院	民間																									0	0	0	80	80	有	療養病床から医療院へ転換済み（令和元年8月～）40床	
																											0	0	0	40	40			
																											0	0	0	0	0			
																											0	0	0	40	40			
13	雨晴クリニック	民間													○									○	○		0	0	0	19	19	無	病床利用率は80%であり、地域で必要とされる医療を提供しており、現時点では機能転換やダウンサイジングの必要はないと判断したため。	これまで行ってきた認知症のターミナルケア、看取りに加えてがんのターミナルケア、看取りも行っていく予定である。
																											0	0	0	19	19			
															○									○	○	○	0	0	0	19	19			
				○											○									○	○	○	0	0	0	19	19			
14	市野瀬和田内科医院	民間										○													○	○	0	0	0	19	19	無		
																											0	0	0	19	19			
							○	○		○	○	○	○		○									○	○	○	0	0	0	0	0			
												○													○	○	0	0	0	19	19			
15	上野医院	民間								○		○													○	○	0	0	0	8	8	有	病床数8→2床へ減床する予定です（理由は「課題及び今後の方針」を参照してください）	当院は1泊～2泊程度の短期滞在型の手術のため、病床を維持しております。当分この方針で遂行してまいります。従って病床は8床は不要であり、せいぜい2床あれば足りると思います。
																											0	0	0	8	8			
				○								○												○	○	○	0	0	0	0	0			
																											0	2	0	0	2			
16	おとぎの森レディースクリニック	民間																		○							0	12	0	0	12	無	特に変更する必要がないため	人材確保（特に助産師、看護師）従来通り周産期医療をしっかり対応していく。
																											0	12	0	0	12			
																				○							0	12	0	0	12			
																				○							0	12	0	0	12			
17	高陵クリニック	民間									○		○	○											○	○	0	18	0	0	18	有	急性期機能病床は現状とする。更に既に行き場のない合併症を有する末期血液透析患者に対し介護医療院を提供する。	合併症を有する末期腎不全患者の受け入れ先がありません。現在の透析医療は超高齢者の治療です。治さないと心血管系合併症や下肢切断があります。今後の受け入れ先を考える時期に来ています。
																											0	18	0	0	18			
							○		○	○	○	○	○											○	○		0	18	0	0	18			
							○		○	○	○	○	○												○	○	0	6	0	0	6			
18	高岡駅南クリニック	民間																									0	2	0	0	2	無	人員の問題があり変更予定はなし	
																											0	2	0	0	2			
					○		○				○	○	○											○	○		0	2	0	0	2			
					○		○				○	○	○											○	○		0	2	0	0	2			
19	ほんごうハヤシ整形外科クリニック	民間																									0	0	0	0	0	無		
																											0	6	0	0	6			
																											0	0	0	0	0			
																											0	0	0	0	0			
20	吉江レディスクリニック	民間																		○							0	15	0	0	15	無	地域で必要とされる医療を提供していると考えている	今後も地域の周産期医療に貢献していきたいと考えております。
																											0	15	0	0	15			
																				○							0	15	0	0	15			
																				○							0	15	0	0	15			
21	吉田内科小児科	民間											○	○											○	○	0	19	0	0	19	有		
																											0	3	0	0	3			
													○	○										○	○	○	0	19	0	0	19			
													○	○											○	○	0	3	0	0	3			

医療機関名		設置主体	医療計画における役割 上段：第7次（現行） 中段：第8次における計画（H30時点） 下段：第8次における計画（各医療機関再検討後）																									病床数 上段：H29病床機能報告 中上段：R2年4月1日時点 中下段：2025年の計画（H30時点） 下段：2025年の計画（各医療機関再検討後）					機能・病床数の変更		課題及び今後の方針
			がん			脳卒中			心血管疾患		糖尿病					精神疾患	救急		災害	へき地	周産期		小児			在宅				高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	変更の有無	内容	
			治療（いずれかの部位に該当）	治療（肺がん）	療養支援（いずれかの部位に該当）	急性期	回復期	維持期	急性期	回復期	専門治療	急性憎悪	慢性合併症（治療一般）	慢性合併症（糖尿病網膜症）	慢性合併症（糖尿病腎症）		救命医療	入院救急			ハイリスク等	正常分娩	専門	高度専門	救命医療	入院救急	（日常）	（看取り）								
22	射水市民病院	公立	○		○			○	○	○	○	○	○	○	○		○						○			○	○	○	○	0	83	75	0	158	有	現時点で具体的な病床数に係る計画はないが、稼働率が70%を下回る状況が続いていることから、病床削減に向けて協議を始める予定である。	経営状況の悪化（診療棟整備などに見合った収益が上げられていない）や病床稼働率の向上に早急に努める必要がある。
																														0	98	99	0	195			
			○		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○				○			○	○	○	○	0	96	99	0	195			
			○		○			○	○	○	○	○	○	○	○			○					○			○	○	○		0	96	99	0	195			
23	大島くるみ病院	民間			○			○					○		○															0	0	0	99	99	無		
																														0	0	0	99	99			
								○					○																	0	0	0	99	99			
					○		○	○					○		○															0	0	0	99	99			
24	真生会富山病院	民間	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○									○	○	○	0	58	41	0	99	有	急性期機能の病棟を1病棟、地域包括ケア病棟に転換し回復期機能とする。	
																														0	58	41	0	99			
			○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○									○	○	○	0	58	41	0	99			
			○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○									○	○	○	0	40	59	0	99			
25	姫野病院	民間			○								○														○	○	○	0	0	0	40	40	無	病床利用率90%以上であり、平均在院日数も短く重度な方をひきうけており、地域で必要とされる医療を提供していると思われ、機能転換の必要はないと判断いたしました。	在宅復帰率をあげていくようにしていきたい。
																														0	0	0	40	40			
					○								○														○	○	○	0	0	0	40	40			
					○								○														○	○	○	0	0	0	40	40			
26	浅山外科胃腸科医院	民間			○			○					○															○	○	0	19	0	0	19	有	2025年あたりでは医師高齢化に伴い入院治療はなくするつもりです。	医師高齢になるにつき近い将来外来診療のみとするつもりでいます。
																														0	19	0	0	19			
					○			○		○			○					○									○	○	○	0	19	0	0	19			
					○			○					○														○	○		0	0	0	0	0			
28	たちなみ歯科口腔外科クリニック	民間																									○	○		0	1	0	0	1	無	入院適用患者がいなかった為、休床しているが、適用患者がいた場合再開予定。	適用患者がいた場合再開予定。
																														0	1	0	0	1			
																														0	0	0	0	0			
																											○	○		0	1	0	0	1			
29	レディースクリニックむらた	民間																				○								0	16	0	0	16	無		
																														0	16	0	0	16			
																						○								0	16	0	0	16			
																						○								0	16	0	0	16			
30	金沢医科大氷見市民病院	公立	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○			○	○	○		0	196	49	0	245	有	急性期機能の病床を、地域包括ケア病床へ転換し、回復期機能とする。	地域医療の中核として、近隣の診療所、病院との連携を密にして、隙間ない医療を供給していく。
																														0	196	49	0	245			
			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○			○	○			0	146	99	0	245			
			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○			○	○			0	146	99	0	245			
31	医療法人財団正友会中村記念病院	民間			○		○	○		○	○	○	○	○	○													○	○	0	52	0	0	52	有	急性期機能の病棟52床を、令和元年5月に地域包括ケア病棟52床に転換し、回復期機能にした。	「ときどき入院ほぼ在宅」の方針に従い、在宅医療に力を入れ、軽度の急変に対応できる医療体制を維持していく。総合診療医の補充が課題である。
																														0	0	52	0	52			
					○		○	○	○	○	○	○	○		○			○	○	○							○	○	○	0	52	0	0	52			
					○		○	○		○	○	○	○	○	○													○	○	0	0	52	0	52			
32	陽和温泉病院	民間																												0	0	0	60	60	無	病床利用率は80%台と若干低いが、氷見市内では唯一の療養病床を有する医療機関であるため、現時点では機能転換やダウンサイジングの必要はないと判断したため。	入院患者数の確保と維持。中心静脈栄養管理、褥瘡治療、必要に応じた酸素吸入、血糖値コントロール等の重症度の高い症例に対するスタッフの的確な知識や技術の向上。
																														0	0	0	60	60			
																														0	0	0	60	60			
																														0	0	0	60	60			
33	佐伯レディースクリニック	民間																				○								0	11	0	0	11	無	氷見市内に分娩取扱い施設が当院のみの為	でき得る限り、氷見市の産科医療サービスの維持に寄与していきたい。
																						○								0	11	0	0	11			
																						○								0	11	0	0	11			
																						○								0	11	0	0	11			

医療機関名		設置主体	医療計画における役割 上段：第7次（現行） 中段：第8次における計画（H30時点） 下段：第8次における計画（各医療機関再検討後） がん			脳卒中		心血管疾患	糖尿病			精神疾患	救急		災害	へき地	周産期	小児			在宅			病床数 上段：H29病床機能報告 中上段：R2年4月1日時点 中下段：2025年の計画（H30時点） 下段：2025年の計画（各医療機関再検討後） 高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	機能・病床数の変更 変更の有無	内容	課題及び今後の方針
			治療（いずれかの部位に該当）	治療（肺がん）	療養支援（いずれかの部位に該当）	急性期	回復期	急性期	回復期	維持期	専門治療	急性憎悪	慢性合併症（治療一般）	慢性合併症（糖尿病網膜症）	慢性合併症（糖尿病腎症）	救命医療	入院救急	正常分娩	ハイリスク等	専門	高度専門	救命医療	入院救急	（日常）	（看取り）							
34	白石整形外科医院	民間																						○	○	○	0	19	0	0	19	無		今後も急性期病床として活用していきたい。
																								○	○	○	0	19	0	0	19			
																								○	○	○	0	19	0	0	19			
																								○	○	○	0	19	0	0	19			
35	小沢眼科医院	民間																									0	5	0	0	5	無	当院の病床利用率は7～8%ですが、理由としては手術が月に4～5回であること、術後の入院日数が2～3日であることなどから、病床利用率を平均すると低くなります。しかし、手術対象患者は高齢者が多く医学的に術後の管理が必要なケースが多いこと、手術患者は呉西のみならず呉東・石川県など遠隔地から来院されることなどから入院病床が必要であり、現在の病床数を維持しなければ今後も手術に対応することが難しいと考えられます。	
																											0	5	0	0	5			
																											0	0	0	0	0			
																											0	5	0	0	5			

県内病院・有床診療所の具体的対応方針の再検証結果（令和２年５月８日時点：砺波医療圏）

医療機関名		設置主体	医療計画における役割 上段：第７次（現行） 中段：第８次における計画（H30時点） 下段：第８次における計画（各医療機関再検討後） がん			脳卒中			心血管疾患		糖尿病					精神疾患	救急		災害	へき地	周産期		小児			在宅			病床数 上段：H29病床機能報告 中上段：R2年4月1日時点 中下段：2025年の計画（H30時点） 下段：2025年の計画（各医療機関再検討後） 高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	機能・病床数の変更 変更の有無	内容	課題及び今後の方針
			治療（いずれかの部位に該当）	治療（肺がん）	療養支援（いずれかの部位に該当）	急性期	回復期	維持期	急性期	回復期	専門治療	急性憎悪	慢性合併症（治療一般）	慢性合併症（糖尿病網膜症）	慢性合併症（糖尿病腎症）		救命医療	入院救急			ハイリスク等	正常分娩	専門	高度専門	救命医療	入院救急	（日常）	（看取り）							
1	砺波総合病院	公立	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○			16	354	48	0	418	無	高度急性期機能を維持しつつ、病床の適正化に向けて今年度に検討を行うこととしており、現段階では計画の変更に至ってない。	質の高い医療を提供することにより在院日数の短縮化が進んでいるが、新入院患者が伸び悩んでおり、結果として病床稼働率が落ち込んでいる。現在の病床数が適正かどうか検証の上、結論を見出したい。
																													16	354	48	0	418			
			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○			16	354	48	0	418			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○			16	354	48	0	418			
2	北陸中央病院	公的	○	○			○	○			○	○	○	○	○	○		○						○			○	○	○	0	57	83	53	193	無	病床利用率はR1、91.3%（ドック病床除く）であり、地域で必要とされている医療を提供しており、現時点では機能転換やダウンサイジングの必要はないと判断したため。	現在の診療機能を維持しながら、感染症に対応できる体制を構築することが課題と考えている。
																													0	57	83	53	193			
			○	○			○	○			○	○	○	○		○													0	57	83	53	193			
			○	○			○	○			○	○	○	○	○	○		○						○			○	○	○	0	57	83	53	193			
3	南砺市民病院	公立	○		○	○	○	○			○	○	○		○	○		○		○			○	○	○	○		○	○	0	91	84	0	175	無	病床利用率が平成28年度で80.2%、29年度85.5%、30年度86.2%と高い数値を維持しており、機能転換や病床数減少は慎重な検討が必要。	平成28年12月にまとめた、30年後の南砺市立病院の方向性（将来構想）を示した「南砺市立病院のあり方のまとめ」を修正し、これをベースとして次期改革プランを作成する。
																													0	96	79	0	175			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○		○			○	○	○	○	○	○	0	96	79	0	175			
			○		○	○	○	○			○	○	○		○	○		○		○			○	○	○	○		○	○	0	96	79	0	175			
4	南砺中央病院	公立	○		○		○	○			○	○			○			○		○						○	○	○	0	52	52	45	149	無	療養病床45床の介護療養病床24床を廃止し令和6年3月までに療養病棟入院基本料2を届け出る。	平成28年12月にまとめた30年後の南砺市立病院の方向性（将来構想）を示した「南砺市立病院のあり方のまとめ」を修正し、これをベースとして次期改革プランを作成する。
																													0	52	52	45	149			
			○		○		○	○			○	○			○			○		○						○	○	○	0	52	52	45	149			
			○		○		○	○			○	○			○			○		○						○	○	○	0	52	52	45	149			
5	北陸病院	公的														○			○										0	0	0	100	100	無	病床利用率は92.7%であり、地域で必要とされる医療を提供しており、現時点では機能転換やダウンサイジングの必要はないと判断したため。	精神病棟では、重症難治性精神疾患、措置、身体合併、クロザリルの処方など、提供する医療は二次医療圏において競合施設が存在しているが、南砺市において唯一の精神科病院であり、精神科救急医療の基本病院として、中期的には現在の運営状況を維持していく。
																													0	0	0	100	100			
																○			○										0	0	0	100	100			
																○			○										0	0	0	100	100			
6	砺波誠友病院	民間						○																					0	0	0	99	99	無	病床利用率は99.9%であり療養病床として地域で必要とされる医療を提供している。現時点では機能転換やダウンサイジングの必要はないと判断したため、変更はしない。	今後、介護病床（50床）をすべて医療病床に変更したいと考えている。そのためには患者様の確保、職員の確保が課題になる。
								○																					0	0	0	99	99			
								○																					0	0	0	99	99			
								○																					0	0	0	99	99			
7	砺波サンシャイン病院	民間						○																					0	0	0	100	100	有	2019年11月に慢性期機能の2階病棟50床を介護医療院へと転換した。	慢性期機能の医療療養50床及び介護、医療の両機能を備えた介護医療院50床の合計100床で運営していく方針。
																													0	0	0	50	50			
								○																		○	○		0	0	0	50	50			
								○					○																0	0	0	50	50			
8	あおい病院	民間			○			○			○	○	○		○														0	0	0	96	96	無		
																													0	0	0	96	96			
								○					○																0	0	0	0	0			
					○			○			○	○	○		○														0	0	0	96	96			
9	となみ三輪病院	民間						○																					0	0	0	100	100	有	2019年6月医療療養病床15床、介護療養病床35床を転換し、介護医療院50床を開設した。2020年4月現在となみ三輪病院医療療養病床50床、となみ三輪病院介護医療院50床。	病院、介護医療院において人員を確保し、施設基準を維持すると共にサービスの質の維持向上が課題。
																													0	0	0	50	50			
								○																					0	0	0	50	50			
								○																					0	0	0	50	50			
10	つざわ津田病院	民間																											0	0	0	76	76	有	医療療養病棟1病棟（36床）。介護医療院40床とする。	
																													0	0	0	36	36			
					○								○												○	○	○		0	0	0	34	34			
																													0	0	0	36	36			

医療機関名		設置主体	医療計画における役割 上段：第7次（現行） 中段：第8次における計画（H30時点） 下段：第8次における計画（各医療機関再検討後）																											病床数 上段：H29病床機能報告 中上段：R2年4月1日時点 中下段：2025年の計画（H30時点） 下段：2025年の計画（各医療機関再検討後）					機能・病床数の変更		課題及び今後の方針
			がん			脳卒中			心血管疾患		糖尿病				精神疾患	救急		災害	へき地	周産期		小児			在宅		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	変更の有無	内容	
			治療（いずれかの部位に該当）	治療（肺がん）	療養支援（いずれかの部位に該当）	急性期	回復期	維持期	急性期	回復期	専門治療	急性憎悪	慢性合併症（治療一般）	慢性合併症（糖尿病網膜症）	慢性合併症（糖尿病腎症）	救命医療	入院救急			ハイリスク等	正常分娩	専門	高度専門	救命医療	入院救急	（日常）	（看取り）								
11	太田病院	民間			○		○	○		○	○	○	○													○	○	0	0	0	29	29	無	入院の需要があり病床稼働率が高いので変更はしない。	耐震補強工事を行い在宅復帰機能強化加算を継続算定しつつ療養病床を維持していきたい。内視鏡検査を積極的に行い早期がん発見に努めたい。
																												0	0	0	29	29			
					○		○	○		○	○	○	○												○	○	○	0	0	0	0	0			
					○		○	○		○	○	○	○												○	○		0	0	0	29	29			
12	西野内科病院	民間					○	○			○	○	○												○	○		0	0	0	63	63	有	医療療養病床3F（27床）を介護医療院に転換。医療療養病床2F（36床）はそのまま。（但し入院基本料2→1に変更）	医療療養病床から介護医療院への転換がスムーズに移行できるかが課題。また医療療養病床2F（36床）の入院基本料2→1への変更を維持できるかが次の課題。
																												0	0	0	36	36			
								○			○		○												○	○		0	0	0	63	63			
							○	○			○	○	○												○	○	○	0	0	0	36	36			
13	ふくの若葉病院	民間					○	○																				0	0	0	100	100	無	介護病床を医療病床へ転換期には病床利用率は低迷したが現在は1年間の平均は94%以上であり、また慢性期としては高い医療を提供できていると自負している。	急性期病院から医療依存度の高い患者さんの受入体制及びマンパワーの確保。
																												0	0	0	100	100			
							○	○																				0	0	0	100	100			
					○		○	○					○															0	0	0	100	100			
14	津田産婦人科医院	民間																										0	12	0	0	12	無		
																												0	12	0	0	12			
																				○								0	12	0	0	12			
																												0	12	0	0	12			
15	吉岡整形外科	民間																										0	19	0	0	19	無	地域で数少ない有床診療所として病床利用率も大きく下がらず、患者さんから必要とされる医療を提供していると判断したため。	有床診療所維持のための看護職員の確保
																												0	19	0	0	19			
																												0	19	0	0	19			
																												0	19	0	0	19			

具体的対応方針の再検討結果（病床数のみ）

		2025年の計画（H30） A					2025年の計画【再検討後】 B					B-C 2025計画（H30時点）から再検討後の2025計画増減				
		高	急	回	慢	計	高	急	回	慢	計	高	急	回	慢	計
新川	公的	8	701	53	52	814	13	654	105	0	772	5	▲ 47	52	▲ 52	▲ 42
	民間	0	147	79	662	888	0	87	79	532	698	0	▲ 60	0	▲ 130	▲ 190
	計	8	848	132	714	1,702	13	741	184	532	1,470	5	▲ 107	52	▲ 182	▲ 232
富山	公的	949	1,670	301	362	3,282	1,416	1,056	442	362	3,276	467	▲ 614	141	0	▲ 6
	民間	0	456	527	1,997	2,980	0	420	623	1,747	2,790	0	▲ 36	96	▲ 250	▲ 190
	計	949	2,126	828	2,359	6,262	1,416	1,476	1,065	2,109	6,066	467	▲ 650	237	▲ 250	▲ 196
高岡	公的	353	962	392	0	1,707	402	875	370	0	1,647	49	▲ 87	▲ 22	0	▲ 60
	民間	0	436	72	658	1,166	0	308	142	701	1,151	0	▲ 128	70	43	▲ 15
	計	353	1,398	464	658	2,873	402	1,183	512	701	2,798	49	▲ 215	48	43	▲ 75
砺波	公的	16	559	262	198	1,035	16	559	262	198	1,035	0	0	0	0	0
	民間	0	31	0	396	427	0	31	0	496	527	0	0	0	100	100
	計	16	590	262	594	1,462	16	590	262	694	1,562	0	0	0	100	100
県全体	公的	1,326	3,892	1,008	612	6,838	1,847	3,144	1,179	560	6,730	521	▲ 748	171	▲ 52	▲ 108
	民間	0	1,070	678	3,713	5,461	0	846	844	3,476	5,166	0	▲ 224	166	▲ 237	▲ 295
	計	1,326	4,962	1,686	4,325	12,299	1,847	3,990	2,023	4,036	11,896	521	▲ 972	337	▲ 289	▲ 403
		地域医療構想2025必要病床数					930	3,254	2,725	2,648	9,557					
		各医療機関の計画と地域医療構想との差					▲ 917	▲ 736	702	▲ 1,388	▲ 2,339					

見舞金対応方針の見直検討諮問（第既第2次）

		2025年の計画（H30）					2025年の計画（本検討後）					B-C				
		A					B					2025計画（H30年度）から所要計画の2025計画（本検討後）				
		高	泉	迎	保	計	高	泉	迎	保	計	高	泉	迎	保	計
第川	公的	8	701	83	52	844	15	695	105	6	779	0	▲ 47	52	▲ 52	▲ 42
	民間	0	147	79	082	308	0	37	79	532	648	0	▲ 80	0	▲ 130	▲ 190
	計	8	848	162	714	1,152	15	741	184	532	1,427	5	▲ 107	52	▲ 182	▲ 282
高山	公的	948	1,470	301	362	3,282	1,416	1,077	442	362	3,297	468	▲ 394	141	0	▲ 9
	民間	0	458	327	1,307	2,080	0	420	623	1,341	2,384	0	▲ 38	98	▲ 550	▲ 490
	計	948	2,128	628	2,350	5,362	1,416	1,478	1,065	2,109	6,068	468	▲ 658	237	▲ 550	▲ 706
高萩	公的	382	905	382	362	2,031	408	872	378	0	1,658	46	▲ 33	▲ 22	0	▲ 55
	民間	0	430	72	658	1,160	0	208	142	0	350	0	▲ 128	70	43	▲ 15
	計	382	1,358	454	658	3,191	408	1,080	520	0	2,008	46	▲ 215	48	43	▲ 70
常陸	公的	18	539	202	138	1,028	18	320	282	0	620	0	0	0	0	0
	民間	0	37	0	294	431	0	31	0	468	527	0	0	0	100	100
	計	18	520	202	534	1,402	18	590	282	604	1,082	0	0	0	100	100
第合体	公的	1,528	3,882	1,008	812	6,230	1,842	3,144	1,178	864	6,028	521	▲ 738	171	▲ 52	▲ 108
	民間	0	1,070	478	3,173	3,681	0	848	464	3,418	5,160	0	▲ 226	168	▲ 247	▲ 285
	計	1,528	4,952	1,486	4,125	13,291	1,842	3,992	1,642	4,282	11,908	521	▲ 972	337	▲ 299	▲ 403
当時区事業費2025年度時点値							920	11,[illegible]	2,727	2,640	8,591					
各計画事業費の計画と実績差額（百万円）							▲ 977	▲ 731	102	▲ 1,[illegible]	▲ 2,[illegible]					